

平成 25 年度事務事業評価調書

事業コード	03010202	区分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	中学校通学バス運行事業	担当部署名	教育課		
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線	650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	03教育・歴史・伝統	01学校教育の推進	02村の特色を生かした教育の推進		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度～ 年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>生徒の通学の安全性確保等を図る。</p> <p>②内容</p> <p>小吹台方転地から中学校まで通学バスを運行している。利用者負担金として1人1ヶ月定期代6,500円、回数券1枚180円を徴収。</p>	<p>小吹台地区の生徒で希望者</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<ul style="list-style-type: none"> ・通学の安全性の確保 ・保護者の負担軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・悪天候等による通学バス運行の安全性の確保 ・生徒数の減少による財政的負担の増大

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	3,471	3,617	3,368	3,617	3,617			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金	1,014	1,215	837	786	786		
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	2,457	2,402	2,531	2,831	2,831			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,109	1,109	1,109	1,109	1,109		
総コスト費(千円)(A+C)	4,580	4,726	4,477	4,726	4,726			
人口あたりコスト(円)	756	780	739	780	780			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	生徒が安全に通学できている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	時間割の急な変更にも対処できている。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	運行委託料を見直し、新たに入れすることで事業費を抑えている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	特定の者を対象としているが、受益者以外の村民からみても理解が得られやすい。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	15 / 16	94%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	94%	#DIV/0!	#DIV/0!
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	通学にあたり、路線バスが不十分にあることから、引き続き実施する。

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
生徒の安全確保の面からも引き続き継続すべきと考えるが、生徒数が減少している中、その負担について検討していく必要がある。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
		B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止